



環境報告書2025

ENVIRONMENTAL REPORT



生活協同組合 パルシステム茨城 栃木



環境報告書 発行にあたって

日頃よりパルシステム茨城 栃木の事業および組合員活動に対し、多大なるご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

2025年度は、物価高騰の影響や米不足などの影響により、食卓や日々の暮らしに少なからぬ不安が広がる一年となりました。こうした困難な情勢下においても、多くの組合員の皆様が継続してご利用くださったおかげで、供給高は年間を通じて堅調に推移いたしました。皆様一人ひとりの「選ぶ力」が当生協を支えてくださっていることに、重ねて深く感謝申し上げます。一方で、深刻化する気候変動は農林水産物の品質低下や収穫量減少を招いており、当年度も記録的な高温や豪雨によって、カキ・海藻類・根菜・果実など、幅広い産品が影響を受けました。地球規模の気候変動により、私たちの暮らしを取り巻く状況は、依然として予測困難で厳しい状況が続いています。

このような情勢下において、当生協は「暮らしを守ることを基本に、「脱炭素社会」「循環型社会」「自然共生社会」の実現を環境方針に掲げています。今後も二酸化炭素排出量の削減、エネルギー効率の最適化、資源の有効利用といった取り組みを一層強化し、持続可能な社会の実現に邁進してまいります。

本報告書では、2025年度の環境目標に対する成果と、具体的な環境保全活動についてまとめました。本レポートが、パルシステム茨城 栃木の環境への取り組みをご理解いただく一助となれば幸いです。今後とも変わらぬご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



2026年5月
生活協同組合
パルシステム茨城 栃木
専務理事 茅根 誠

理 念



当生協は、『心豊かなくらしと共生の社会を創ります。一人ひとりの愛と自立した協同の力で心豊かな暮らしの創造と誰もが公平に生きつづけられる社会をめざします』を理念とし、あらゆる活動を通じて環境に配慮し、持続可能な社会の実現をめざし取り組んでいます。

組織の概要 (2026年3月31日現在)

- 設 立 ● 2000年3月20日
- 所在地 ● 茨城県水戸市梅香二丁目1番39号
- 代表者 ● 理事長 青木 恭代
- 供給高 ● 180億円
- 出資金 ● 71億円
- 組合員 ● 139,988人
- 施 設 ● 本部、無店舗事業センター7、店舗1
- 沿 革 ● 2000年3月
 - 「生活協同組合コープあい」と「ひたちコープ生活協同組合」が組織合同し、「生活協同組合ハイコープ」に名称を変更。
 - 2007年6月
 - 「生活協同組合パルシステム茨城」に名称を変更。
 - 2018年9月
 - 「生活協同組合パルシステム茨城 栃木」に名称を変更。

環境マネジメントシステム



2003年に取得した国際規格「ISO14001」については、長年の運用により組織内に環境対策が定着したと判断し、今後はパルシステム茨城 栃木の環境方針に即した独自の環境マネジメントシステムへと移行いたします。ISO14001の管理手法をベースとしつつ、記録や運用方法を実情に合わせてスリム化し、日々の業務と一体化させて進めてまいります。

実務に即したシンプルなルールへの再構築と、経営層による定期的なシステム見直しを徹底し、環境方針に基づく目標と実績の報告は機関紙やホームページ等を通じて広く公開してまいります。

パルシステム茨城 栃木 環境方針



生活協同組合パルシステム茨城 栃木は、パルシステム茨城 栃木の理念「心豊かなくらしと共生の社会を創ります～一人ひとりの愛と自立した協同の力で心豊かなくらしの創造と誰もが公平に生きつづけられる社会をめざします」のもと、事業活動にともなう生物多様性への影響に配慮し、「脱炭素社会」「循環型社会」「自然共生社会」の実現に向け、以下の環境方針を定めます。また、環境方針を達成するため環境目標を設定し、定期的に見直すことで、環境マネジメントシステム及び環境パフォーマンスの継続的改善を図ります。

- (1)「脱炭素社会」の実現に向け、
事業と組合員の暮らしの両輪で省エネルギーの推進と温室効果ガス削減に取り組みます。
- (2)「循環型社会」の実現に向け、
限りある資源の有効活用や3Rの実践を通して、環境への負荷を可能な限り減らします。
- (3)「自然共生社会」の実現に向け、
自然環境を大切に活動をするをすすめます。
- (4)「資源循環型社会」の実現に向け、
事業活動におけるエネルギー効率の見直し、再生可能エネルギーへの転換をすすめます。
- (5)環境に配慮した商品づくりを通して、
くらしの見直しを組合員と共に推進します。

以上の活動をするため、組織のために働くすべての人に対し環境方針の周知徹底を図ります。また、環境方針を理解し行動できるよう環境教育・啓発などを通して環境意識の向上に努めます。

この環境方針は、生活協同組合パルシステム茨城 栃木内外に公開します。

2025年6月12日改定
生活協同組合パルシステム茨城 栃木
専務理事 茅根 誠

環境方針に基づく目標と実績



当生協では、環境に与える影響を最小限に抑えるため、環境方針をたて、方針に沿った目標を設定・評価し活動をおこなっています。

	項目	環境目標	2025年度実績	評価	
環境方針（1）	二酸化炭素(CO ₂) 排出量の削減※注1)	CO ₂ 総排出量 / 1,988,597.0kg-CO ₂ 以内	1,981,070.3kg-CO ₂	100.4 %	○
		(原単位 11,200.3kg-CO ₂ 以内)	(10,976.2kg-CO ₂)	(102.0 %)	○
環境方針（2）	資源有効利用・3R	リユースびんの回収量を増やす / かしま・うしく・ひたち・栃木 92,040本以上	90,054 本	97.8 %	△
		たまごパックの回収量を増やす / つちうら 9,332kg以上	11,327 kg	121.4 %	○
		廃棄物の排出量(原単位) / みと 134.5kg・なか 174.5kg 以内に抑制	みと 126.9 kg	106.0 %	○
			なか 150.1 kg	116.2 %	○
		電気使用量、使用金額の周知 / 月 1 回（本部）	12 回	100.0 %	○
		AB/パック・ヨーグルトカップの回収量を増やす / 12,833kg以上（本部）	11,875 kg	92.5 %	△
機関紙みらい 紙削減 / 前年実績 795,000部以内に抑制（本部）	780,000 部	101.9 %	○		
環境方針（3）	自然環境を 大切に活動	生物多様性に関する企画参加者増 / 1,089名以上（本部）	1,150 名	105.6 %	○
環境方針（4）	エネルギー効率の 見直し	5S活動 月 1 回（かしま・みと・つちうら・うしく・なか・ひたち・栃木）	88 回	104.8 %	○
		本部職員週 1 回ノー残業デー 実施率 100%（本部）	99.1 %	99.1 %	△
環境方針（5）	環境配慮商品の 利用向上	利用率※注2) 87.1%以上（全体）	87.9 %	100.9 %	○

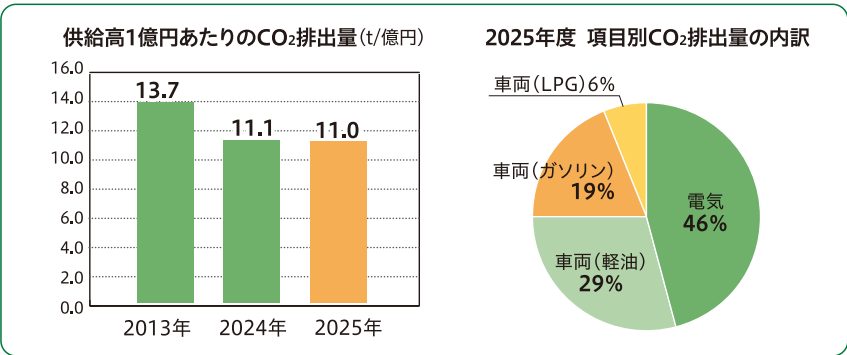
※注1 CO₂排出係数は2024年度の排出係数を暫定で使用 確定後変更予定 ※注2 利用率 注文書を配布した枚数を、実際に注文した人数で割り算した値
●対象期間：2025年度(2025年4月～2026年3月)
●CO₂ 総排出量：電気・ガス・水道・灯油・車両から排出される二酸化炭素の総量
●原単位：事業所ごとに、各エネルギー消費量の合計した値を、エネルギー使用量と密接な関係にある単位(パルシステム茨城 栃木では受注高)で割り算した値
●評価：適合○(達成率100%以上)、観察△(達成率90%以上100%未満)、不適合×(達成率90%未満)

温室効果ガスの削減



当生協では、パルシステムグループとして温室効果ガス削減計画を策定し、グループ全体で「温室効果ガス排出量を2030年度に2013年度比46%削減」をめざして取り組んでいます。

供給高1億円あたりの温室効果ガス(CO₂)排出量の推移と項目別内訳



項目別CO₂排出量の内訳は、電気由来および車両燃料由来のCO₂排出量が、全体の約半数ずつを占める結果となりました。(一部、ガス、灯油由来のCO₂をわずかに含みます)
今後はエコドライブの徹底や配送ルートの見直しによる燃料削減、および業務のエネルギー効率化など、効果的な方法を模索し、持続可能な事業成長を堅持しつつ、脱炭素社会の実現に向けたCO₂排出削減への努力を継続してまいります。

リユース・リサイクル回収率



資源の国内循環と廃棄物削減のため、容器包装のリユース・リサイクルをすすめています。
※回収率 / 1年間に販売した商品の容器包装の量を、生協が回収した量で割り算した値

	米袋	注文用紙	カタログ	資源プラスチック	紙パック	たまごパック	ペットボトル	ABパック・ヨーグルトカップ	お料理セットトレイ	リユースびん
2024年度	40.3%	74.7%	95.5%	31.4%	62.1%	80.2%	75.4%	28.6%	73.8%	67.5%
2025年度	44.3%	71.0%	96.3%	28.1%	61.2%	80.3%	70.2%	28.0%	78.3%	68.1%

↑ UP!

↑ UP!

↑ UP!

↑ UP!

↑ UP!

産業廃棄物処理業者の実地確認



産業廃棄物中間処分を委託する(株)リーテム水戸工場(茨城町)への視察・監査を実施し、適正処理の確認および委託先としての環境コンプライアンス評価をおこないました。関係帳票類の保管状況、現場の作業工程および安全管理体制のいずれも極めて高い水準で運用されていることを確認しました。
また、廃棄物の再資源化率99.9%を実現しており、埋め立て処分を限りなくゼロに近づける「ゼロ・エミッション」を達成しているほか、中間処分業の枠を超え、サーキュラーエコノミー(循環型経済)の体現者として、環境保護の領域で世界をリードする存在であることが確認できました。





テーマ別組合員活動「環境」

テーマ別組合員活動は、当生協の年度方針に基づき「食育」「産直」「環境」「平和国際交流」の4つのテーマのもと、組合員が自発的に活動しています。テーマ別組合員活動「環境」では、石けんの利用普及に向けた活動や次世代を担う子どもたちに対して環境体験型企画の開催、水環境保全企画などに取り組み、多くの組合員が参加しました。

涸沼の生き物観察会

2025年7月26日（参加人数 65名）

茨城県環境アドバイザーの川島氏に「網を使った生き物等の取り方」の指導を受けた後、涸沼に注ぐ若宮川に入り子どもだけでなく親も夢中で生き物採取にチャレンジしました。涸沼自然公園内の若宮川の流れは緩やかで、子どもたちは生き物を探しながら川に座って水の冷たさを楽しみました。採取後種類ごとに分類し、先生にそれぞれの特徴を解説していただきました。クロベンケイガニ、モクズガニ、アメリカザリガニ、ギンブナ、タナゴ、ドジョウ、メダカ、ボラ、スズキ、ミズカマキリなど様々な種類の生き物を観察することができ、子どもたちも先生の質問に積極的に手を上げて答えていました。



台所回りお掃除学習会

2025年11月27日（参加人数 29名）

うしくセンター委員会からの要請で開催しました。最初にレッツ・トライ『石けん』ライフ冊子で家庭からの排水の水環境への影響等について説明した後、台所回りお掃除テキストに基づき、粉石けん・重曹・クエン酸・酸素系漂白剤などのナチュラル洗浄剤を使って換気扇、シンク、ガス台のお掃除と茶渋落としを実演しました。これらの洗剤を一度は購入したものの使用しなくなってしまった方も多く、今回の学習会であらためてその効果をご理解いただけたと思います。「さっそく家でチャレンジします」とのお声もいただきました。



小冊子「レッツ・トライ『石けん』ライフ(改訂版)」はこちらでご覧いただけます



涸沼バードウォッチング

2026年2月7日（参加人数28名）

2024年11月に開館した「涸沼水鳥・湿地センター」を使用してバードウォッチングを開催しました。先生の説明を聞きながらオオバン・マガモ・スズガモ・コブハクチョウなど約15種類の野鳥を観察することができました。実際に水にもぐって魚を捕まえて食べている様子など、水鳥の生態も見ることができました。スズガモは涸沼のしじみを食べることも教えていただき、涸沼とその周辺の葦原、田んぼなども鳥たちの住処や食料を得る所となっていることがよくわかりました。子どもたちも興味深く先生の説明を聞き熱心に観察していました。



これからのお米づくりと気候変動

2026年3月24日（参加人数29名）

テーマ別産直とのコラボ企画として「お米」と「気候変動」をからめたテーマで学習会を開催しました。「お米づくりの現状とこれから」についてJAやさと米生産者と職員にお話をいただきました。各都道府県では、各地の土壌や嗜好に合わせて高温耐性米を開発しています。お米の開発に相当な時間がかかりますが、気温上昇は避けられないことから高温耐性米の必要性が、JAさんのお話から理解できました。一方で、稲の茎が太いために刈り入れのための刃の摩耗が激しかったり、窒素を余計に消費したりなど、生産コストがこれまでの稲よりかかることから、高温耐性米の生産を敬遠される農家さんも多いようです。

お米の食べ比べでは、コシヒカリとにじのきらめき(高温耐性米)を試食しました。食味には大きな違いはないとの説明でしたが、コシヒカリの方がしっとりしていて美味しいという人や、明確な違いを感じられなかった人など、感想が分かれていました。



お知らせ

本環境報告書は当年度をもちまして書面での発行を終了いたします。これは「紙資源の削減」という環境目標に基づいた取り組みであり、次年度以降はwebサイトでの報告へと切り替えさせていただきます。

今後も環境問題を組織の重要課題として捉え、環境負荷の低減に努めるとともに、組合員の皆様に寄り添った事業活動を継続してまいります。引き続き、パルシステム茨城 栃木へのご理解とご協力をお願い申し上げます。

環境報告書 2025

発行日：2026年5月(対象期間2025年4月1日～2026年3月31日)

発行：生活協同組合 パルシステム茨城 栃木

連絡先：〒310-0022 茨城県水戸市梅香二丁目1番39号

TEL.029-227-2225 FAX.029-227-2235

[ホームページ](#) [パルシステム茨城 栃木](#) [検索](#)

<https://www.palsystem-ibaraki.coop/>

